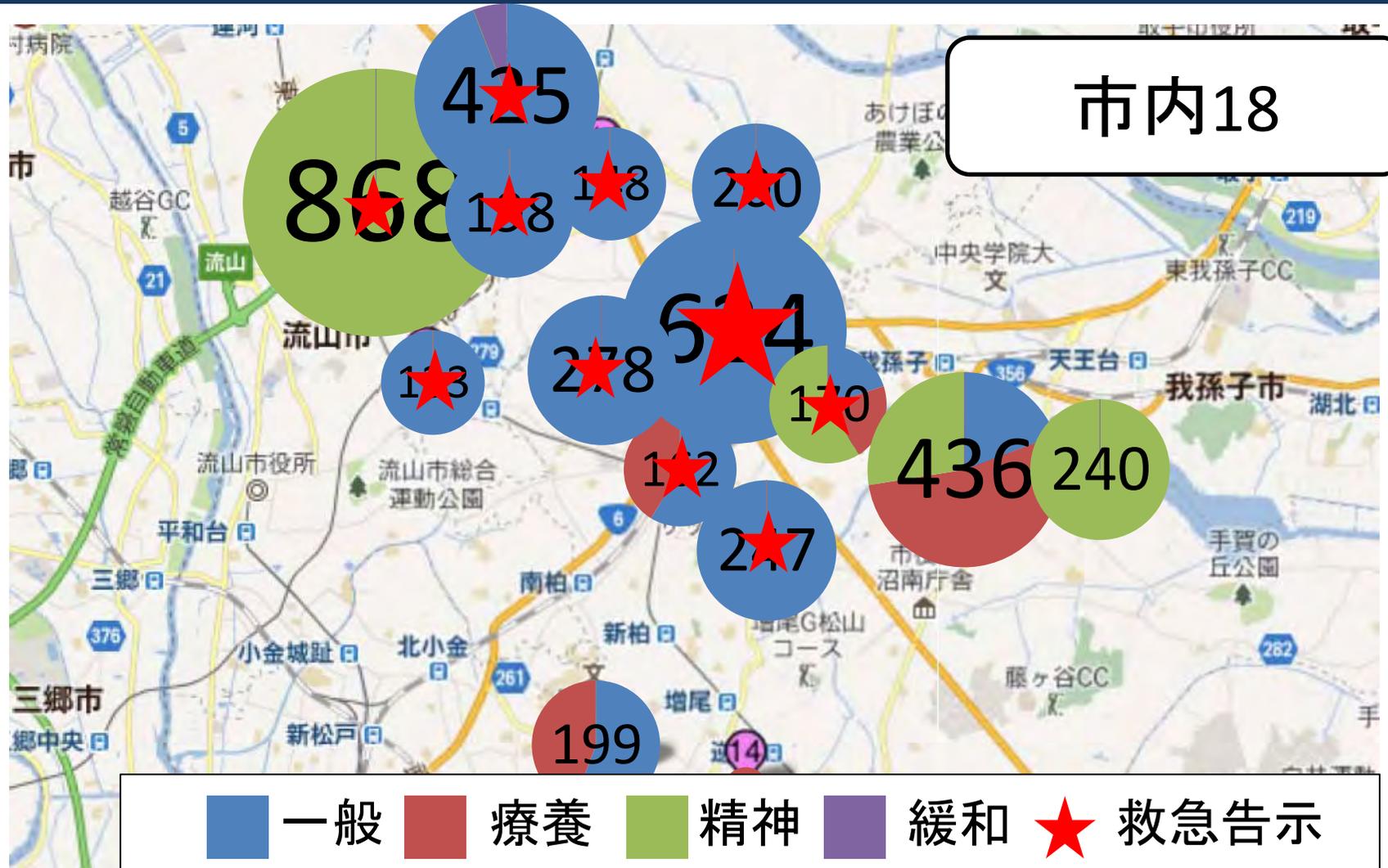


在宅療養支援診療所：柏市



(出典：WAM-NET, 地図データ©Google/ZENRIN, 2012年4月14日時点)

病院：柏市



(出典：WAM-NET, 地図データ©Google/ZENRIN, 2012年4月14日時点)

訪問看護ステーション: 柏市



(出典: WAM-NET, 地図データ©Google/ZENRIN, 2012年4月14日時点)

②アンケート調査による課題抽出

在宅医療連携ガイドの作成

- 拠点が行う、事業所アンケート調査より『在宅医療連携ガイド』を作成。
- 多職種連携をとる際の地域社会資源の選択、連携に活用できる



在宅医療連携ガイド

目

はじめに

医療機関(医療連携室)	91
医療機関	93
訪問診療歯科	97
保険調剤薬局	99
地域包括支援センター	
居宅介護支援事業所	
訪問看護ステーション	
通所リハビリ	
通所介護	
短期入所(ショート)	
介護老人福祉施設(特養)	
介護老人保健施設(老健)	
介護療養型医療施設(療養型)	
軽費老人ホーム	
有料老人ホーム	

附則(平成23年度 在宅医療連携拠点事業実施機関)
編集後記

担当している患者の要件で多職種がかりつけ医にアポイントをとるための参考情報

医療機関名	院長名		理事長 安倍 哲						
	窓口担当者 (Dr 代理対応の方)		外来看護師						
住所	TEL		FAX						
	メール	★各自でアドレス交換をして下さい							
在宅医療の取り組み	主治医意見書の記載		<input checked="" type="radio"/>	対応している	<input type="radio"/>	していない			
	訪問診療		<input checked="" type="radio"/>	定期的に訪問している	<input type="radio"/>	していない			
	かかりつけ患者の臨時往診		<input checked="" type="radio"/>	対応している	<input type="radio"/>	していない			
	在宅療養支援診療所の届出		<input checked="" type="radio"/>	有り	<input type="radio"/>	無			
医師との面談方法 優先順位	直接面談	往診同席	外来同席	電話連絡	FAX連絡	メール連絡	その他		
	5	4	3	1	2	6			
担当者会議への医師の参加	主治医の都合の時間で医療機関で開催の場合			<input type="radio"/>	30分以内なら可能	<input checked="" type="radio"/>	15分以内なら可能	<input type="radio"/>	困難
	訪問診療に合わせて開催の場合			<input type="radio"/>	30分以内なら可能	<input checked="" type="radio"/>	15分以内なら可能	<input type="radio"/>	困難
主治医が比較的面談等の対応が可能な時間帯				<input checked="" type="radio"/> 月 <input checked="" type="radio"/> 火 <input checked="" type="radio"/> 水 <input checked="" type="radio"/> 木 <input checked="" type="radio"/> 金 <input checked="" type="radio"/> 土					
				15:00-18:00					
多職種の方々への要望 (連絡時の注意事項を含む)		連携ガイドに記載 可							

③ 会議の設置による課題抽出

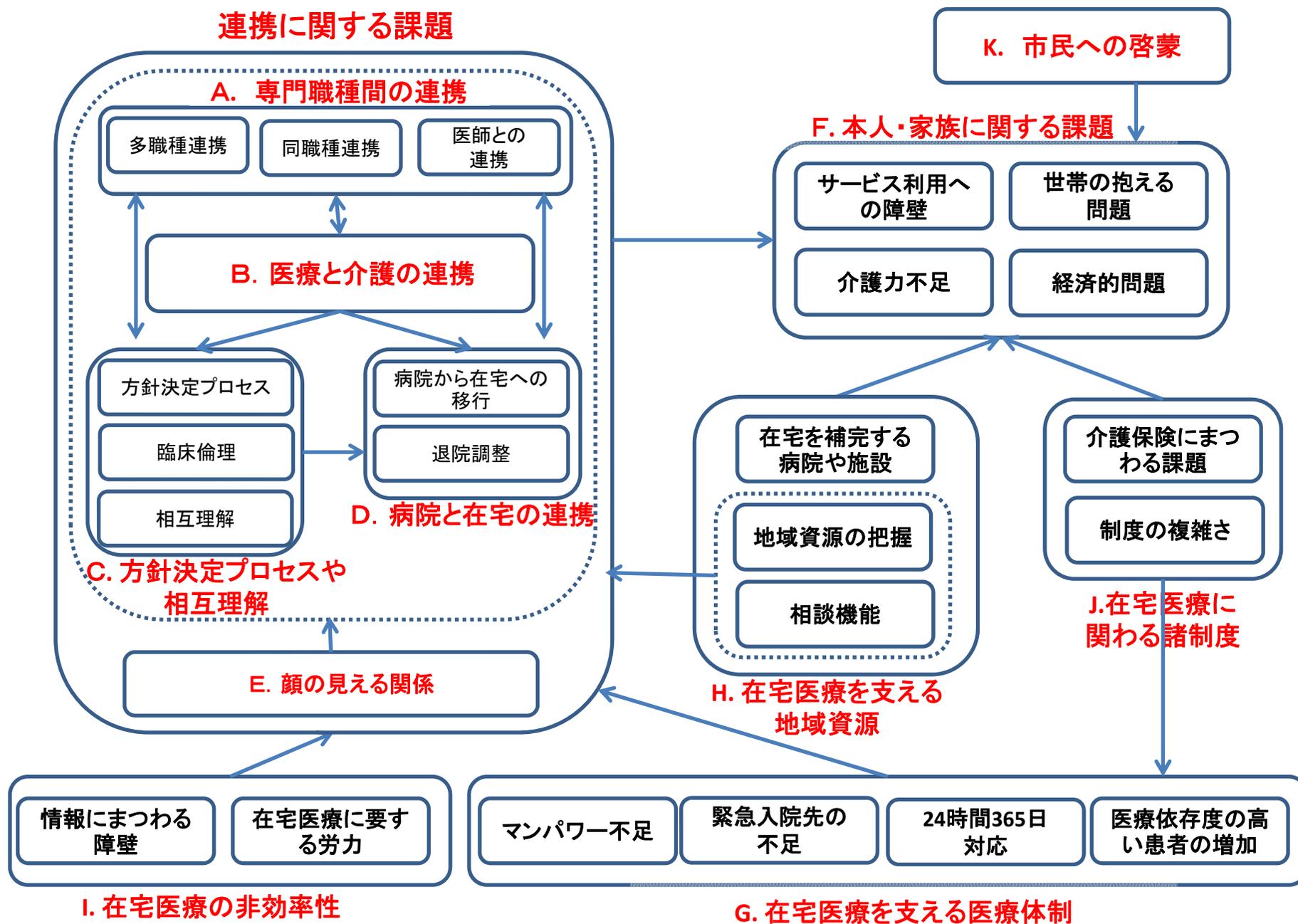
多職種グループでの闊達な討論



「在宅医療の課題」に関する概念図

(n=166, Pn= 611)

連携に関する課題



④臨床実践に基づく課題抽出

1. 多職種協働の意義、困難とする要因等の解説
2. グループワークを効果的に進めるための方法
3. 地域資源に関するさまざまな課題抽出の方法紹介
4. KJ法を用いた課題抽出の方法紹介

まとめ

- 在宅医療では、身体—心理—社会的な問題が混然一体となって横たわっており、患者と家族にとっての最善を実現するためには、多職種によるチームアプローチが不可欠である。
- 地域での多職種研修では、ワークショップなどの参加型の、能動的な学習スタイルを取り入れる必要がある。
- ワークショップの標準的な流れは、「グループワーク」⇒「全体発表」⇒「相互評価」である。
- ファシリテーターは、グループワークの「議題の設定」⇒「意見の引き出し、論点整理の繰り返し」⇒「まとめ」という流れを意識して進行する。
- ファシリテーターは、全体のタイムキープを行いながら、すべてのグループメンバーの公平な参加を保障し、中立的な姿勢で議論を編集する。また、議題の提示、論点整理、緊張の緩和など話し合いの進行のための様々な配慮を行う。